

2019年11月12日

上場会社名 株式会社 協和エクシオ  
 コード番号 1951 URL <http://www.exeo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船橋 哲也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務部長 (氏名) 樋口 秀男  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東  
 TEL 03-5778-1105

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	212,302	59.8	10,766	25.9	10,658	19.3	6,275	6.4
2019年3月期第2四半期	132,889	6.3	8,555	3.9	8,932	8.0	5,899	7.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 6,279百万円 ( 4.7%) 2019年3月期第2四半期 6,590百万円 ( 13.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	55.98	55.86
2019年3月期第2四半期	62.07	61.82

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	393,532	264,843	66.4	2,356.05
2019年3月期	416,483	267,811	63.4	2,343.43

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 261,415百万円 2019年3月期 263,896百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		32.00		38.00	70.00
2020年3月期		40.00			
2020年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	495,000	16.8	32,000	0.9	32,800	1.9	21,800	45.8	195.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	117,812,419 株	2019年3月期	117,812,419 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	6,857,165 株	2019年3月期	5,201,053 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	112,095,055 株	2019年3月期2Q	95,046,937 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足資料の入手方法)

決算補足資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の深刻化や海外経済の減速など不安定な国際情勢を背景に先行き不透明な状況にあるものの、当社グループ事業に関連する情報通信分野におきましては、IoTの普及やAIなどの最新テクノロジーの広がりを追い風に、ビッグデータを収集・分析するビジネスが急成長するなどICT投資は増加基調にあり、各通信キャリアにおいても5G商用サービスに向けた基地局の設置が前倒しで始まるなど、堅調な設備投資が続いています。

また、建設分野におきましては、都市の再開発や東京オリンピック開催に向けてホテルの建設などが続いているほか、公共投資も引き続き高水準で推移しました。

このような環境下において、当社グループの主力の通信キャリア事業は、固定通信・モバイル通信工事とも受注が好調に推移し、成長事業に位置付ける都市インフラ事業とシステムソリューション事業は、電気・公共施設・新規参入分野の大型工事を複数受注したほか、教育機関等へのソリューションビジネスなどが順調であり、M&AによるAPAC地域におけるグローバルビジネスの拡大にも注力しました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、受注高は2,851億5千万円(前年同期比163.1%)、完成工事高は2,123億2百万円(前年同期比159.8%)となりました。損益面につきましては、営業利益は107億6千6百万円(前年同期比125.9%)、経常利益は106億5千8百万円(前年同期比119.3%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は62億7千5百万円(前年同期比106.4%)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

報告セグメント	協和エクシオ グループ (注) 2		シーキューブ グループ		西部電気工業 グループ		日本電通 グループ	
	金額	前年 同期比	金額	前年 同期比	金額	前年 同期比	金額	前年 同期比
受注高 (注) 1	198,396	113.5%	33,787	—	32,451	—	20,515	—
完成工事高 (注) 1	140,015	105.4%	31,361	—	23,462	—	17,463	—
セグメント利益	8,010	93.6%	1,827	—	286	—	771	—

(注) 1. 「受注高」「完成工事高」については外部顧客への取引高を記載しております。

2. 報告セグメントにおける協和エクシオグループには、シーキューブグループ、西部電気工業グループ、日本電通グループを含んでおりません。

## (協和エクシオグループの概況)

通信キャリア事業におきましては、ラグビーW杯の試合会場となったスタジアムでの5Gプレサービス提供のためのモバイル工事を受注するなど、5G関連の受注が始まり好調なほか、台風15号によって被災した地域の通信設備の復旧などに尽力しました。都市インフラ事業におきましては、太陽光発電施設工事の大型案件を受注したほか、全国の空港や高速道路の電気通信工事に取り組みました。システムソリューション事業におきましては、豊田スタジアムのIoTプラットフォームを導入したピッチ照明改修工事を手掛けたほか、BPMビジネス等に強みを持つ会社をグループ化するなど、新たなソリューション分野の拡大に努めました。

## (シーキューブグループの概況)

企業や公共機関におけるWindows10への切替案件や、消費増税に伴うシステム改修案件等の増加によりシステムソリューション事業の売上が拡大し、NCC分野では3.5GHz、700MHz帯の無線基地局工事だけでなく、1.7GHz帯の無線基地局新設工事が堅調に推移し、通信キャリア事業の売上も増加しました。

(西部電気工業グループの概況)

通信キャリア事業におきましては、主要顧客の固定通信関連における光開通工事などが堅調に推移し、都市インフラ事業におきましては、新築ビル等の電気設備工事などに取り組んだほか、大型の太陽光発電施設工事を受注するなど好調に推移しました。

(日本電通グループの概況)

都市インフラ事業・システムソリューション事業におきましては、高速道路や国道の通信設備工事、学校等教育施設へのPC導入案件などの受注が好調に推移し、通信キャリア事業におきましては、4G無線基地局工事の受注などが順調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ229億5千万円減少し、3,935億3千2百万円となりました。これは主に未成工事支出金等の増加があったものの、受取手形・完成工事未収入金の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ199億8千2百万円減少し、1,286億8千9百万円となりました。これは主に支払手形・工事未払金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ29億6千8百万円減少し、2,648億4千3百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加があったものの、自己株式の取得による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	41,805	43,163
受取手形・完成工事未収入金	156,361	100,013
有価証券	895	896
未成工事支出金等	38,401	64,599
その他	4,403	6,231
貸倒引当金	△158	△146
流動資産合計	241,708	214,757
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	31,603	34,063
土地	55,403	57,392
その他(純額)	10,948	11,870
有形固定資産合計	97,955	103,326
無形固定資産		
のれん	10,259	10,407
その他	4,502	4,466
無形固定資産合計	14,762	14,874
投資その他の資産		
その他	62,541	60,933
貸倒引当金	△485	△359
投資その他の資産合計	62,056	60,574
固定資産合計	174,774	178,775
資産合計	416,483	393,532

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	59,265	46,272
短期借入金	13,069	11,478
未払法人税等	7,498	4,158
未成工事受入金	5,487	5,473
引当金	4,595	4,383
その他	24,489	18,044
流動負債合計	114,406	89,809
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	4,659	10,307
引当金	604	644
退職給付に係る負債	9,283	8,404
その他	9,718	9,524
固定負債合計	34,265	38,879
負債合計	148,671	128,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,888	6,888
資本剰余金	47,868	49,353
利益剰余金	204,647	206,643
自己株式	△6,534	△12,490
株主資本合計	252,870	250,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,603	4,649
為替換算調整勘定	△65	△34
退職給付に係る調整累計額	6,488	6,405
その他の包括利益累計額合計	11,026	11,020
新株予約権	355	317
非支配株主持分	3,559	3,109
純資産合計	267,811	264,843
負債純資産合計	416,483	393,532

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
完成工事高	132,889	212,302
完成工事原価	115,176	184,130
完成工事総利益	17,712	28,172
販売費及び一般管理費	9,157	17,405
営業利益	8,555	10,766
営業外収益		
受取利息	6	16
受取配当金	231	431
その他	360	783
営業外収益合計	598	1,230
営業外費用		
支払利息	12	122
為替差損	—	334
その他	208	882
営業外費用合計	220	1,339
経常利益	8,932	10,658
税金等調整前四半期純利益	8,932	10,658
法人税等	3,137	4,376
四半期純利益	5,795	6,282
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△104	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,899	6,275

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	5,795	6,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,123	46
為替換算調整勘定	△31	34
退職給付に係る調整額	△297	△83
その他の包括利益合計	794	△2
四半期包括利益	6,590	6,279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,713	6,270
非支配株主に係る四半期包括利益	△123	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

(社債の発行)

当社は、2019年9月20日開催の取締役会における社債発行に関する包括決議に基づき、次のとおり国内無担保普通社債を発行いたしました。

第4回無担保社債(社債間限定同順位特約付)

- (1) 発行総額：金10,000百万円
- (2) 発行価額：各社債の金額100円につき、金100円
- (3) 利率：年0.120%
- (4) 払込期日：2019年10月25日
- (5) 償還期限：2024年10月25日
- (6) 償還方法：満期一括償還
- (7) 資金使途：設備投資資金、借入金返済資金および運転資金

第5回無担保社債(社債間限定同順位特約付)

- (1) 発行総額：金10,000百万円
- (2) 発行価額：各社債の金額100円につき、金100円
- (3) 利率：年0.190%
- (4) 払込期日：2019年10月25日
- (5) 償還期限：2026年10月23日
- (6) 償還方法：満期一括償還
- (7) 資金使途：設備投資資金、借入金返済資金および運転資金